



矢別ダム下流域の皆様へ(お知らせ)

矢別ダム大雨洪水時の対応

近年、気象異変による風水害が多く発生しています。特に最近の特徴として集中豪雨などの局地的な災害の発生が頻発しています。
このような局所的な集中豪雨は、河川の増水や堤防の決壊などを急激に進展させることから住民の避難が間に合わず人的被害へとつながる恐れがあります。

洪水被害を回避するためには「確実に迅速な情報伝達」を通し、いち早く「安全な場所へ避難」することが重要となります。

矢別ダムでは、洪水が発生し貯水池の水かさが増えてあらかじめ決められた貯水位になった場合にはダムに備えつけられているゲートを開けて貯留している水を放流する洪水調節を行います。

この時には、あらかじめ、**スピーカー又はサイレン**で下記の通りお知らせしますので情報に十分注意して下さい。
また、放流量が増加した時には、ダム下流の**河川水位が上昇して危険な状態となりますので川に近づかないようにして下さい。**

なお、放流に関する通知の時期および方法については以下の通りです。

1. 放流を開始する約**1時間前**から**スピーカー**によるお知らせをします。
 2. 放流を開始する約**30分前**から**サイレン又はスピーカー**によりお知らせし、
- また、あわせて警報車が約**15分～30分前**に巡回してお知らせします。

「スピーカー(音声)によるお知らせ」

放送	休止	放送	休止
60秒	30秒	60秒	30秒

「サイレン又はスピーカー(擬似音によるもの)の鳴らし方」

吹鳴	休止	吹鳴	休止	吹鳴
20秒	5秒	20秒	5秒	20秒

20秒 休止後 繰返し1回 (合計2回)



警報局
(スピーカー・サイレンによる通知をします。)

矢別ダム警報局位置図

